東京国際フォーラム
Tokyo International Forum
ANNUAL REPORT
2014

TOKYO INTERNATIONAL FORUM
東京国際フォーラム

〒100-0005
東京都千代田区丸の内3丁目5番1号
TEL.03-5221-9000（代）
http://www.t-i-forum.co.jp/

2015年7月発行

社長挨拶

平素より弊社の事業活動に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

東京国際フォーラムは、東京都所有の総合的文化情報施設として旧都庁跡地に1997年に開館しました。現在では年間2千3百万人を超える来館者をお迎えするまでになり、日本を代表するコンベンション&アートセンターとして国内外から評価をいただいています。

2014年度は、「第34回国際眼科学会(WOC 2014)」や「国際法曹協会(IBA)年次総会」などの大型国際会議をはじめ、コンサート、ミュージカル、展示会など様々なジャンルの催事が数多く開催されました。また、弊社の主催事業では、10回目を迎えた「ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン『熱狂の日』音楽祭2014」、「丸の内キッズジャンボリー2014」、「TOKYO stylish NIGHT “REFLECTION 2014/2015”」等、東京国際フォーラムの施設特性を活かしたイベントを実施し、地域の賑わい創出にも貢献いたしました。

近年、海外の諸都市では、MICEの誘致に向け、施設の拡張やサービスのレベルアップを行うなど、都市間での国際競争が激しくなっています。

今後は、東京のプレゼンスを強く国内外に発信していくため、都心型MICE施設としての魅力をさらに向上させるとともに、東京国際フォーラムがウエイトリフティング会場に予定されている2020年東京オリンピック・パラリンピック大会の成功に向けて、社を挙げて取り組んでいかなければなりません。また、文化と賑わいの拠点として魅力ある主催事業を積極的に展開することや、大規模な集客施設として、防災機能の向上をはじめとする安全・安心の提供に向け、万全の体制を構築していくことなども不可欠です。こうした会社を取り巻く環境の変化を踏まえ、直面する様々な課題を解決するため、弊社では、2015年3月に『第5次中期経営計画』を策定しました。

東京国際フォーラムは、2017年に開館20周年を迎えます。弊社はこれからも、東京都の監理団体としての役割を果たしていくのはもちろん、世界をリードする都心型MICE施設としての機能を遺憾なく発揮し、文化・賑わい拠点としての魅力を世界に発信してまいります。2020年、さらにその先も見据えて、地域との連携をより一層深めながら、経営計画の着実な実現に向け全社一丸となって取り組んでまいります。

引き続き、弊社の事業活動にご愛顧とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

代表取締役社長　上條 清文

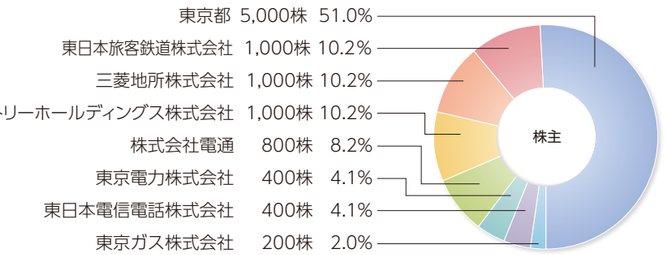
会社概要

(2015年7月1日現在)

名　　称	株式会社東京国際フォーラム (英文名称:Tokyo International Forum Co., Ltd.)
所 在 地	東京都千代田区丸の内三丁目5番1号
設立年月日	2003年4月4日 (ただし、本格稼動は財団法人東京国際交流財団から事業譲渡を受けた7月1日から)
主要事業	1. 東京国際フォーラムのホール、会議室等の管理運営 2. 東京国際フォーラムのサービス施設の管理運営 3. 国際交流促進等のための催事の企画、制作、実施及びその受託 4. その他上記に付帯する一切の業務
代 表 者	代表取締役社長　上條 清文
資 本 金	4億9000万円

株式の状況

1. 会社が発行する株式の総数 —— 9,800株
2. 発行済株式総数 —— 9,800株
3. 株主数 —— 8名
4. 株主



経営理念

東京国際フォーラム (Tokyo International Forum)はリーディング・コンベンション&アートセンターとして、コミュニティ・東京・日本の魅力を高め、その魅力を世界に向けて発信する感動創造企業である。

経営指針

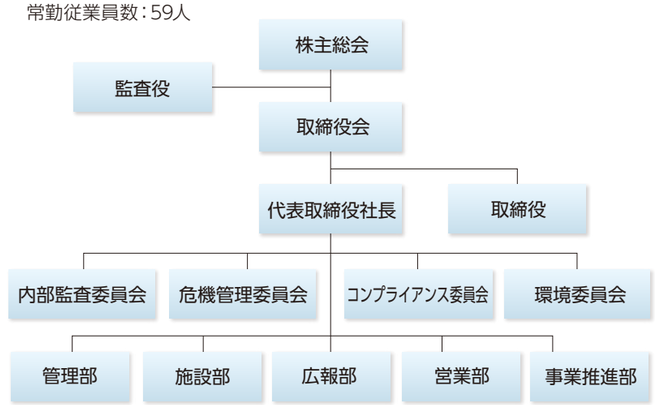
- TIFは、最高の品質とサービスを提供する、リーディング・コンベンション&アートセンターである。
- TIFは、東京と日本の「いま」がわかる、コンベンション&アートセンターのオンリー・ワン・ブランドを目指す。
- TIFは、競争と協調の精神で、東京の顔である「大手町・丸の内・有楽町地区」の魅力あるまちづくりの核として、地域社会に貢献していく。
- TIFは、東京の魅力、まちの賑わい、人々の感動に満ちた、情報発信の拠点である。
- TIFは、自らの感性を高め、お客様の気持ちを敏感にとらえ、喜びと満足をお客様と分かち合う。
- TIFは、透明性が高く、効率的で高収益、高付加価値を創造する経営を目指す。

経営陣

代表取締役社長	上條　清文
常務取締役	澤　　章
取締役	上垣　智則
監査役	松宮　庸介
監査役	貝瀬　　厚

組織概略図

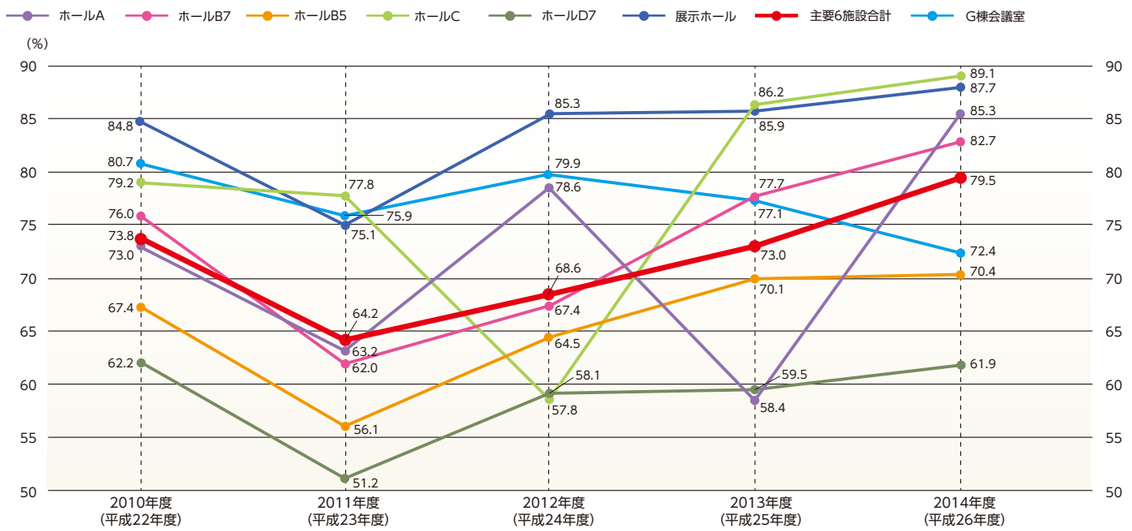
常勤従業員数:59人



2014年度事業報告

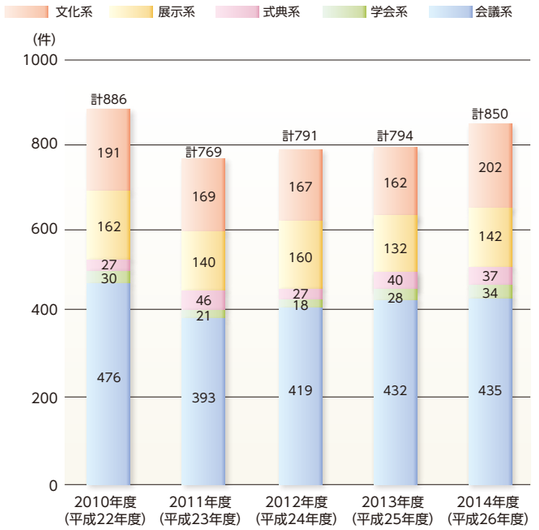
東京国際フォーラム 施設稼働状況

施設稼働率の推移

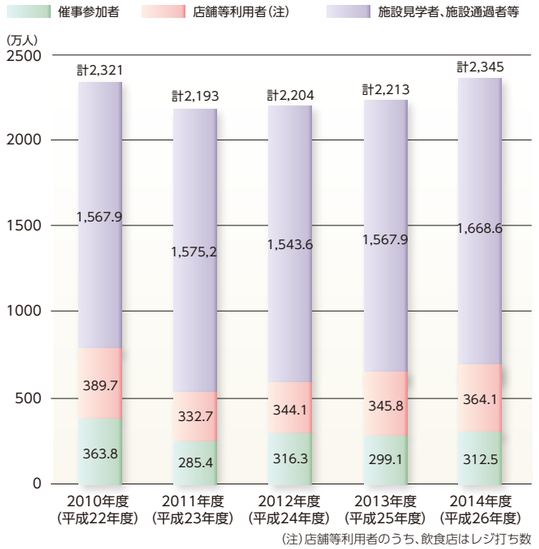


注）主要6施設：ホールA、ホールB7、ホールB5、ホールC、ホールD7、展示ホール　G棟会議室：G棟31室
稼働率計算法：利用日数÷（365日または366日－点検日日数（年間24日））大規模改修による稼働不可能日数は控除しておりません。

主要ホール等利用 種別催事件数の推移

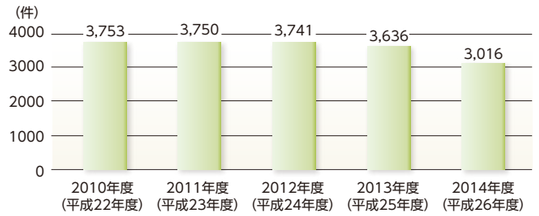


来館者延人数(推計値)の推移

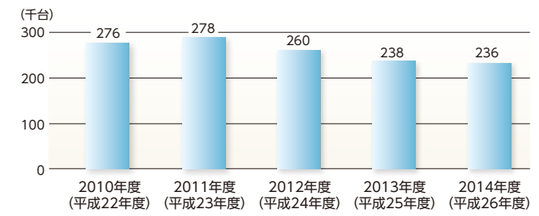


(注)店舗等利用者のうち、飲食店はレジ打ち数

会議室等単独利用 催事件数の推移



駐車場利用台数の推移



2014年度に開催された主な催事

区　分	催事名	会　期	会　場
会議系	富士通フォーラム2014	2014年　5月15日～16日	全館(A 除く)
	ケーブルコンベンション2014	2014年　7月29日～30日	B7,B5,D5,会
	ハーバード大学アジア国際関係プロジェクト2014東京会議	2014年　8月22日～26日	B7,会
	国際法曹協会 年次総会	2014年10月19日～24日	全館
	第78回 2014年IEC東京大会	2014年11月　4日～15日	B7,B5,C,D7,D5,D1,会,LG,GL
	Revolution in Astronomy with ALMA - The Third Year	2014年12月　8日～11日	B7,B5
	楽天新春カンファレンス	2015年　1月15日	全館(C 除く)
	ノーベル・プライズ・ダイアログ（ノーベル賞受賞者講演会）	2015年　3月　1日	B7,B5,D5,GL
	世界会議2015	2015年　3月13日～15日	B7,B5
学会系	第34回 国際眼科学会	2014年　4月　2日～　6日	全館
	第111回日本内科学会総会・講演会	2014年　4月11日～13日	A,B7,B5,C,D7,D5,展
	第66回日本産科婦人科学会学術講演会	2014年　4月18日～20日	全館
	第100回日本消化器病学会総会	2014年　4月23日～26日	全館
	第15回認知症ケア学会大会	2014年　5月31日～　6月　1日	A,B7,B5,C,展1,地
	第32回日本顎咬合学会学術大会・総会	2014年　6月14日～15日	B7,B5,C,D7,D5,展,LG
	第65回日本東洋医学会学術総会	2014年　6月27日～29日	B7,B5,C,D7,D5,D1,LG
	フォーサム in 東京 2014	2014年　7月　4日～　6日	B7,B5,C,D7,D5
	第44回公益社団法人日本口腔インプラント学会・学術大会	2014年　9月12日～14日	全館(A 除く)
式典系	創立50周年記念全国建設業労働災害防止大会	2014年　9月24日～25日	A,B7,B5,C,展1
	更生保護制度施行65周年記念全国大会	2014年10月　1日	C
	学校法人渋谷教育学園創立90周年記念式典	2014年11月11日	A
	土木学会創立100周年記念式典	2014年11月21日	C,D1
展示系	テクノフォーラム2014	2014年　5月21日～23日	会,展1
	高瀬物産食品・酒類総合提案会	2014年　6月10日～11日	展
	ヒューマンキャピタル 2014 東京	2014年　7月16日～18日	B7,展
	ケーブル技術ショー2014	2014年　7月29日～30日	展
	2014 “よい仕事おこし” フェア	2014年　8月　5日～　6日	B7,B5,展,LG
	アイカツ！LIVE☆イリュージョン	2014年　8月16日～20日	展,LG,地
	アドテック東京2014	2014年　9月17日～18日	B7,B5,D7,展,LG
	FIT2014（金融国際情報技術展）	2014年10月　9日～10日	展
	日立イノベーションフォーラム2014	2014年10月30日～31日	全館(C 除く)
	NEC C&Cユーザーフォーラム&iEXPO 2014	2014年11月20日～21日	A,B7,B5,D7,展,LG
	SUPER BOX 2014	2014年11月26日～28日	B7,B5,D7,展
	宝塚歌劇100周年記念展　夢、かがやきつづけて	2014年12月16日～28日	展2,LG
	アートフェア東京2015	2015年　3月20日～22日	B5,D1,展
文化系	プラスト！	2014年　8月　6日～24日	C
	第13回東京JAZZ	2014年　9月　6日～　7日	A
	ブロードウェイミュージカル「シカゴ」宝塚歌劇100周年OGバージョン	2014年11月　1日～　9日、12月10日～19日	C
	SARAH BRIGHTMAN in concert with Orchestra ～ 世界でいちばん美しい歌がある ～	2014年12月　1日、8日、11日、12日	A
	上原ひろみ　ザ・トリオ・プロジェクト「ALIVE」ジャパンツアー2014	2014年12月　5日～　7日	A
	第92回 全日本仮装大賞	2014年12月28日	B7
	ミハイロフスキー劇場バレエ	2015年　1月　3日、4日、10日、11日	A
	宝塚歌劇 花組 東京国際フォーラム公演『Ernest in Love』	2015年　1月　7日～19日	C
	超ど級・パワフルミュージカル ウィズ ～オズの魔法使い～	2015年　3月　7日～22日	C

A：ホールA、B7：ホールB7、B5：ホールB5、C：ホールC、D7：ホールD7、D5：ホールD5、D1：ホールD1、会：会議室、展：展示ホール（全面）、展1：展示ホール（1）、展2：展示ホール（2）、LG：ロビーギャラリー、GL：ラウンジ、地：地上広場

「都心型MICE※」の取り組み

**東京国際フォーラムは日本有数のコンベンション&アートセンターとして、
日本・東京のMICE誘致と開催の中核的役割を担っています。**

東京国際フォーラムは、日本のビジネスの中心地であり近年は文化・観光エリアとしての魅力も高めている東京・丸の内に位置し、銀座・有楽町の商業地域に隣接しています。北側には日本の鉄道交通の中核ターミナル東京駅が至近距離にあり、南側はJRと東京メトロの有楽町駅と直結し、交通アクセスの利便性が高く、皇居外苑、ショッピングエリアとして世界的に名高い銀座、日比谷の劇場街なども徒歩圏内にあり、まさに東京の魅力が凝縮された最高の立地です。また、国際的なラグジュアリーホテルからリーズナブルなビジネスホテルまで東京国際フォーラムの周辺には数多くの宿泊施設があります。

この宿泊・商業施設・観光・ビジネスなど様々な施設・機能が集積されたエリア全体の機能と、東京国際フォーラムのコンベンション施設としての高い機能を連携させることにより、エリア全体で高付加価値のMICE環境を提供する「都心型MICE」の中核として、当社は、東京都や地域と連携しながら、国際規模のMICE誘致・開催に取り組んでいます。

※MICE：Meeting（会議）、Incentive travel（報奨・研修旅行）、Convention（総会、学術会議、大会等）、Exhibition（展示会、見本市）の頭文字のことであり、多くの集客交流が見込まれるビジネスイベントなどの総称です。

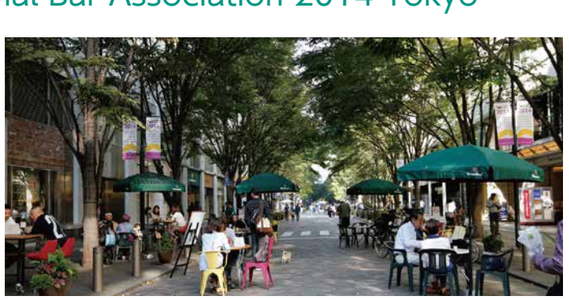
2014年度には、次の大型国際会議が開催されました。

国際法曹協会年次総会
Annual Conference of the International Bar Association 2014 Tokyo

世界の200以上の弁護士会と、5,000以上の個人会員で構成される世界最大の法曹団体IBA（国際法曹協会）の年次総会が、東アジアで初めて東京で開催されました。

世界各国から6,000人を超える参加者があり、大会期間中には200を超える様々な分野のセッションが開催されました。参加者のうち海外からの参加者が約5,500人で海外参加者の割合が極めて高い国際会議でした。

海外から多くの参加者をお迎えするこの会議の開催期間に合わせ、大手町・丸の内・有楽町地区では「丸の内仲通り空間活用モデル事業2014」を実施。エリア全体で国際会議を受け入れる都心型MICEの拠点として環境整備を行う取り組みの一環として行われたもので、丸の内仲通りを歩行者天国としオープンカフェを展開、ランチタイムコンサートを開催するなど、会議参加者をはじめとする当エリアへの来街者に憩いの交流空間を創出しました。


仲通りオープンカフェ

仲通りバナー

ウェルカムパーティー

開会式

茶道体験

ケン玉パフォーマンス

● 会　　期	2014年10月19日（土）～24日（金）
● 会　　場	東京国際フォーラム 全館
● 参加者数	約6,000人（約150ヵ国）

第34回国際眼科学会／World Ophthalmology Congress（WOC）2014

36年ぶりに日本で開催されたWOC2014は、アジア太平洋眼科学会や日本眼科学会総会も併催され、世界135カ国から眼科医や医療関係者等が一堂に会し、参加者数は約2万人に上り、日本国内で開催された国際会議としては最大規模のものとなりました。

「桜が咲き、一年中で最も美しい季節に海外からの参加者をお迎えしたい」という主催者様のお考えで4月第一週に開催され、東京国際フォーラムの地上広場に巨大な桜の木を出現させるといった驚きの演出も行われました。

万国旗の装飾

● 会　　期	2014年4月2日（水）～6日（日）
● 会　　場	東京国際フォーラム 全館、帝国ホテル
● 参加者数	約20,000人（135カ国）

第78回2014年IEC東京大会

IEC（International Electrotechnical Commission）は電気・電子技術等に関する国際標準化や適合性評価等の活動を通じ、産業の発展、国際貿易の振興と製品やサービスの利用者の利便性向上等に寄与することを目的として、1906年に設立された国際機関で、毎年IEC大会として、総会、組織運営等の会議と規格開発を行う専門委員会等を開催されています。

15年ぶりの日本開催となった今回の東京大会は世界62カ国から約2,400人が参加され、53分野で約240会議が開催されるなど、近年のIEC大会では最大級の規模となりました。

レセプションでの
ロボット・デモンストレーション

● 会　　期	2014年11月4日（火）～15日（土）
● 会　　場	東京国際フォーラム ホールB7・B5・C・D7・D5・D1、ロビーギャラリー、G棟会議室全室
● 参加者数	約2,400人（62カ国）

主催事業

東京国際フォーラムは、魅力あるまちづくりの核として、また、文化の創造と発信の拠点として、
地域や社会、都民への貢献に資する主催事業を積極的に展開しています。

ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン「熱狂の日」音楽祭2014

フランスで生まれた画期的な音楽祭「ラ・フォル・ジュルネ」を、東京国際フォーラムは、2005年ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン「熱狂の日」音楽祭（以下LFJ）として日本で初めて開催しました。初年度にして総来場者数32万人を記録し、以来、日本最大級のクラシック音楽祭として成長させ、東京のゴールデンウィークの風物詩として定着しています。

2014年は記念すべき10回目の開催となりました。

【10回記念 祝祭の日】のテーマのもと、これまでLFJを彩った10人の作曲家がそれぞれの仲間を引き連れて東京国際フォーラムに集結するというコンセプトで、17世紀から20世紀にいたるクラシック音楽の流れを網羅する名曲の数々が演奏されました。

ラ・フォル・ジュルネ オ・ジャポン 2014

●テーマ	10回記念 祝祭の日 Jours de Fêtes
●会期	2014年5月3日(土・祝)～5月5日(月・祝) ※前夜祭スペシャルイベント 5月2日(金)
●会場	東京国際フォーラム、よみうりホール、よみうり大手町ホール及び大手町・丸の内・有楽町エリア
●来場者総数	約61万2千人(延べ人数)
●出演者総数	2,261人(うち有料公演 海外573人、国内328人 計901人)
●総公演回数	366公演(回)(うち有料公演147公演)
●チケット販売数	151,001枚

トピックス

1 開催10回をみんなで祝う

開催10回を記念するプログラムを多彩に展開。LFJを支えてくださる多くの方々とともに、10回記念を祝い、祝祭感に満ちあふれた空間をつくりました。

[1] 前夜祭スペシャルイベント(5月2日)

①「みんなで第九・歓喜の歌」(地上広場)
インターネットでの呼びかけにより、一夜限りのみんなで歌い演奏する参加型プログラムに約1,300人が集結。全員で歌い奏でた「歓喜の歌」が夜の東京国際フォーラムに壮大に響きました。

②「熱狂のプレナイト」(地上広場)
地上広場キオスクステージには、伝統的なハンガリー音楽を豊かで多彩な音色で演奏するムジカーシュらが登場。ライブ演奏やネオ屋台村の食事を楽しみながら、会場がひとつになり10回記念の前夜祭に熱狂しました。

③祝祭の日プレナイト「アメリカの夜」(ホールA)
小曽根真（ピアノ）、ルセロ・テナ（カスタネット）、シンフォニア・ヴァルソヴィア、ジャン=ジャック・カントロフ（指揮）が、圧倒的なパフォーマンスを披露し観客を魅了しました。

④「レセプション」(展示ホール)
協賛・後援等の支援各社・関係者をご招待し、約700人にご来場いただきました。

[2] トーキョー・クラシック・ナイト(5月3日 地上広場)

音楽祭初日の夜、10回記念を祝した特別ライブを地上広場で展開。24時間都市・東京ならではの祝祭と感動が深夜まで繰り広げられました。

[3] 特別追加公演「祝祭の夜」(5月3日 ホールA)

音楽で結ばれた仲間たちが贈る最高のサプライズ。10回記念のお祝いに、マルタ・アルゲリッチ(ピアノ)、ギドン・クレーメル(ヴァイオリン)など世界的なアーティストたちが集まり一夜限りの共演を繰り広げ、5,000人が酔いしれました。

2 さらなる拡がりを見せたLFJ2014

より地域に根差した音楽祭をめざして、新たな会場での有料公演の開催、地域との連携プログラムの実施、
エリアコンサートの拡大などを展開しました。

[1] 千代田区との連携プログラム

2014年からLFJの特別協力に加わった千代田区をはじめ、区内の専門店街、小中学校、文化施設、大学との連携により多様なプログラムを繰り広げました。

①「千代田カルチャー情報スポット」の設置
LFJ2014の会場内に、楽器店街(お茶の水エリア)、古書・新刊書店街(神保町エリア)、電気店街(秋葉原エリア)の専門店による展示・販売を中心に、千代田区の多彩な街の魅力と観光スポットを紹介するコーナーを設置しました。

②大学生の社会連携活動との連携
町おこしに取り組む学生たちが、LFJ運営スタッフとして参加。8人がボランティアリーダーとして「LFJボランティア2014」の運営業務を担当しました。

③クラシック音楽講座
千代田区立日比谷図書文化館の主催による初心者向けのクラシック音楽講座「日比谷カレッジ“もう一歩”踏み出せばクラシック音楽は身近になる ～ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン「熱狂の日」音楽祭を前に～」が開催され、クラシック音楽の魅力とLFJの楽しみ方を伝えました。(4月16日)

④昼休みコンサートLFJ2014プレコンサート
LFJ2014の事前PRを兼ね、千代田区役所にてプレコンサートを実施。フルートとピアノにより、LFJ2014のテーマとなる10人の作曲家たちの作品を演奏しました（4月17日）。

⑤アウトリーチ
アウトリーチは千代田区内の小学校2校を訪問し、鈴木優人氏（お話、ピアノ）によるワークショップを実施しました。(4月17日)

⑥公開リハーサル
公開リハーサルは横浜シンフォニエッタ（鈴木優人指揮）のリハーサルに、千代田区と中央区の小中学生約800人が参加しました。(5月2日 ホールC)

[2] エリアコンサートの拡充

LFJにご協賛いただいている企業団体の施設を会場に実施する「LFJエリアコンサート」に新たに6会場が加わり、計11会場での実施となりました。三菱地所株式会社が主催する「丸の内エリアコンサート」9会場と合わせると、20会場・公演数137という規模でエリアコンサートが展開されました。

[3] よみうり大手町ホール

2014年3月にオープンした「よみうり大手町ホール」(501席)が新たな有料公演会場に加わり、“音楽の捧げもの”を特集テーマに、室内楽と合唱を中心とした15プログラムを実施しました。

丸の内キッズジャンボリー2014

子どもたちへ、未来の夢を育む感動・発見・驚きを届けたい―そうした想いから、開館10周年記念事業としてスタートした参加・体験型イベント。丸の内の夏の風物詩として多くの方々に愛され、2014年で8回目を迎えました。

「TIFワンダーキャンパス」、「わくわくブース」、「ワンダーステージ」、「ワンダークラブ」、「キッズタウン」の5つのカテゴリーでプログラムを構成し展開。

東京国際フォーラム(TIF)によるオリジナル・プログラム「TIFワンダーキャンパス」の2014年のテーマは“伝える”。6つの特別講義で、生物学、科学、文学、アートなど“伝える”に多様な分野からアプローチしました。

「ワンダークラブ」と「わくわくブース」では、企業や団体による多彩なセミナーやワークショップが勢ぞろい。「キッズタウン」ではドリルマシーンなどの重機乗車体験や消火放水体験など。「ワンダーステージ」では音楽・ダンスなどの熱気あふれるパフォーマンスや、科学の不思議やおもしろさを伝える“おもしろ大実験教室”を実施しました。

他には、キャッチボール教室、お相撲体験、手作り楽器でパレード、紙漉き体験、新聞制作ワークショップなど、全152種のアイテムを実施しました。

連日の暑さにもかかわらず、東京国際フォーラムに元気いっぱいの子どもたちの笑顔と歓声が溢れた3日間でした。

●会期	2014年8月12日（火）～8月14日（木）
●会場	東京国際フォーラム ホールA・Cを除く全館
●来場者数	約12万5千人（延べ人数）
●企画アイテム数	152
●協力団体・企業数	121

TOKYO stylish NIGHT “REFLECTION 2014/2015”

年末の主催事業として音楽と光、ダンス、映像を駆使した「TOKYO stylish NIGHT “REFLECTION 2014/2015”」を開催。音楽と照明による演出から始まる「夜の調べ」、続いてDAZZLEをはじめとする気鋭のダンサーたちが圧巻のダンスパフォーマンスを披露する「ダンシングナイト」、静謐な光と音の空間「夜との対話」、最後に映像作家奥秀太郎氏によるプロジェクションマッピングの映像演出が荘厳な空間を創出する「聖夜の映像万華鏡」の4部構成で、地上広場を舞台に、東京国際フォーラムの建物と空間を使って時間と共に変容する風景のインスタレーションを展開しました。

“REFLECTION”には「反射」、「影」といった視覚的な意味と「内省」、「黙想」といった人間の内面性を表す意味があり、地上広場という会場特性を活かし、訪れる人の感覚と内面に響く演出を試みる意図をこのタイトルに込めました。

これまでにない斬新な取り組みで、東京国際フォーラムの新たな魅力を発信することができました。

●会　　期	2014年12月19日(金)～12月28日(日)
●会　　場	東京国際フォーラム 地上広場
●来場者数	約3万人

「土地の記憶 パネル展」～むかし、この地に東京都庁があった～

現在、東京国際フォーラムが立つこの地に、1991(平成3)年まであった東京都庁の歴史の変遷を記録した貴重な写真を展示しました。この地には、1894(明治27)年、東京府庁が建設されてから約1世紀に渡り東京全体の行政を司る庁舎が建っていましたが、その後の新宿への都庁舎移転から四半世紀が経過しようとする現在、この事実の記憶をとどめる人は少なくなっています。そこで、往時の写真をご覧いただきながら、ひとときのタイムスリップを味わっていただくとともに、未来の東京に思いをはせていただくことを趣旨としてこのパネル展を実施しました。

通りがかりの方も含め多くの方が、興味深そうに写真パネルをご覧になっていました。

●会　　期	2015年3月17日(火)～3月30日(月)
●会　　場	東京国際フォーラム ガラス棟 1階 太田道灌像前スペース

ネオ屋台村スーパーナイト in 東京味わいフェスタ2014

2014(平成26)年10月10日から12日まで東京・丸の内エリアで初めて開催された「東京味わいフェスタ2014」(主催:東京都及び東京味わいフェスタ実行委員会)に合わせ、東京国際フォーラムの地上広場を“サテライト会場”と位置づけ、協力企画としてネオ屋台村スーパーナイト in 東京味わいフェスタ2014を開催しました。

恒例の「ネオ屋台村スーパーナイト」を今回は、東京産の食材を使ったメニューや日本酒や日本産のブドウのみを使った日本ワインのキッチンカーも加わった特別バージョンで展開。ライブステージではボーカルグループやフラメンコダンサーなど多彩なアーティストがパフォーマンスを展開。

3日間とも沢山のお客様にご来場いただき、「東京味わいフェスタ2014」ともども大盛況のうちに終了しました。

●会　　期	2014年10月10日(金)～10月12日(日)
●会　　場	東京国際フォーラム 地上広場
●来場者数	約5,300人

TOKYO FANTASHION

東京の優れたファッションブランドを積極的にアピールし、東京発のクールジャパンを発信すると共に、若手ファッションデザイナー育成・支援を目的として、CREATORS　TOKYOによる一般消費者向けファッションイベント「TOKYO FANTASHION」を開催しました。

会場となったホールB7では、新進気鋭のデザイナーによる2015春夏ファッションショーと、販売会が行われました。ショーの開始に先立って、ファッションを学ぶ学生たちによるパフォーマンスが地上広場で行われ、来館者の注目を集めました。

●主　　催	東京都、東京国際フォーラム、TOKYO FANTASHION実行委員会
●会　　期	2014年12月23日(火・祝)
●会　　場	東京国際フォーラム ホールB7、地上広場
●参加ブランド数	ファッションショー17ブランド　販売会19ブランド
●来 場 者 数	約600人

共催・協力事業

東京国際フォーラムは地域や社会に貢献する活動にも積極的に連携しています。

東京ミチテラス2014

東京・丸の内から「歴史、未来、希望」の光を灯すプロジェクトで、東京駅とその周辺が光や照明で演出されました。東京国際フォーラムではアートオブジェを展示。　●**会期**：2014年12月1日(月)～28日(日)

LIGHTING　OBJET　2014

「地球環境保護と子どもたちの平和な未来」と「復興支援の継続」をコンセプトに、各界で活躍中のアーティストによる光の作品が丸の内の4会場で展示されました。東京国際フォーラムでは4組のアーティストによる「竹あかり」を展示。　●**会期**：2014年12月11日(木)～25日(木)

2015 KOBE MEMORIAL 1.17灯りのつどい

阪神・淡路大震災の犠牲となった人々を追悼し、防災・減災への教訓を目指したイベント。　●**会期**：2015年1月17日(土)

東北これから会議2015

東日本大震災の被災地の避難者や支援活動について考え、その復興を祈るイベント。　●**会期**：2015年3月10日(火)

施設の大規模改修工事、その他改修及び修繕工事

東京国際フォーラムは、施設及び設備をリフレッシュするため2009年度から10ヵ年計画で大規模改修工事を実施しております。2014年度はその6年目にあたります。

この改修工事は、単に当館を竣工当時の状態に復元するためだけでなく、お客様のご要望に十分お応えできるように機能を向上させ、より安全・安心で、環境問題にも配慮した施設となることを目的としています。また、10ヵ年計画による大規模改修工事のほかにも、お客様の利便性を高め、更なる安全安心を図るための改修・修繕工事等を行っています。

2014年度の主な工事内容をご紹介いたします。

JR京葉線側階段改修工事

手摺、フレーム等の鉄骨塗装、階段部分のクリーニング等を行い、竣工当時の状態にリフレッシュしました。

ガラス棟屋根鉄骨改修準備工事

ガラス棟屋根鉄骨部分を再塗装し竣工当時の状態にリフレッシュする工事を2015年度から実施いたします。この工事にかかる安全対策工事（工事用ゴンドラ、通路の設置、ネット設置）を2014年度から行っています。確実な安全対策をもって順次工事を行い、2016年9月には竣工当時の状態にリフレッシュしたガラス棟屋根鉄骨が再び美しい姿を現す予定です。

地下3階エレベーターホール自動扉改修工事

安全性強化策として、視認性を向上させるためエレベーターホールの自動扉をガラス扉に変更し、自動扉開閉時の巻き込み防止柵も設置いたしました。

展示ホール手摺改修工事

展示ホール内の柱周りに設置した柱防護手摺の形状を、角に丸みを持たせたものに改修しました。これにより、手摺に衝突した際の怪我等の防止効果が期待できます。

Cブロック・Dブロック間セキュリティー強化工事

館内移動動線のセキュリティーをより強化するために、Cブロック・Dブロック間の扉を交換しセキュリティーシステムを設置いたしました。

ガラス棟喫煙所設置

東京国際フォーラムは館内完全分煙としており、これまでガラス棟会議室ご利用のお客様には、地上広場に面したBブロック1階の喫煙所をご利用いただいておりました。

これまで懸案だったスペースやダクト等の課題を調整し、ガラス棟5階に喫煙所を設置することができました。これにより、ガラス棟会議室等ご利用のお客様の利便性が向上しました。

Bブロック2階喫煙所改修

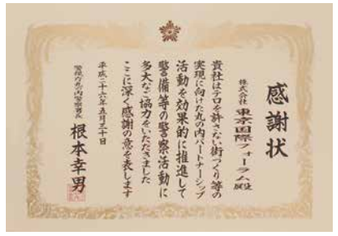
ホールB7・B5ご利用のお客様向け喫煙所を改修しました。従来の開放型吸煙機からキャビン型吸煙機を導入することで、分煙強化を図りました。

トピックス

丸の内警察署からの感謝状（2014年5月）

東京国際フォーラムは「テロを許さない街づくり」等のため、「丸の内パートナーシップ」の一員として、テロ防止対策訓練など、日頃より積極的に活動を行っています。この活動に対し、警視庁丸の内警察署長より「感謝状」をいただきました。

表彰式は、2014年5月30日に開催された「第4回丸の内パートナーシップ推進会議」で行われました。また、この会議では当社危機管理担当が東京国際フォーラムにおけるテロ対策についての発表を行い、多くの参加者が熱心に聴き入っていました。



「平成26年度事業用大規模建築物における優良廃棄物管理者」顕彰（2014年7月）

東京国際フォーラムは、千代田清掃事務所が立ち入り調査した306の事業用大規模建築物の中で、事業系廃棄物の減量・リサイクル促進に積極的に取り組み、区の目指す「資源循環型都市千代田」に大きく貢献している建築物として顕彰されました。

主な取り組み内容としては、事務所内にリサイクルコーナーを設置し、廃棄物の分別及びリサイクルに努め、また、封筒等の再利用といった再利用品の利用促進等があります。

「まちなか水飲栓」の設置（2014年8月）

東京の水道水のおいしさを実感していただくため、東京都水道局により、東京国際フォーラムの地上広場に「まちなか水飲栓」が設置されました。「まちなか水飲栓」は、水道局のマスコット「水滴くん」の形をしたオブジェのような形状で、地上広場のアクセントにもなっています。

千代田区コミュニティサイクル実証実験への参加（2014年10月）

東京国際フォーラムは、「自転車シェアリングの普及」を積極的に推進するため、千代田区が実施する「コミュニティサイクル実証実験　ちよくる」に参加しています。

「コミュニティサイクル実証実験」とは、千代田区が区内に複数のサイクルポート（自転車の貸出･返却拠点）を設置し、各サイクルポートにおいて、どこでも借りられどこでも返却できるネットワーク型の自転車共同利用サービスを実証実験するもの。

東京国際フォーラムは、地上広場にサイクルポートを設置し、千代田区と連携して実証実験に参加しています。

●**実証実験期間（予定）**　2014年10月1日から2017年3月31日
●**設置台数**　10台（最大）

未来の輝きアワード（2014年12月）

大手町・丸の内・有楽町エリアの地域連携イベント「LIGHTING OBJET　2014」の一環として、学生による光のデザイン「未来の輝きアワード」が開催されました。

東京国際フォーラムの光壁をキャンバスに、美術系大学や専門学校の学生による若々しいエネルギーや思いをこめた応募作品の中から、優れた4作品が大きく展示されました。

●**展示期間**
2014年12月11日（木）
～2015年1月9日（金）

Grand Prix東京国際フォーラム賞「未来の輝き」

Gold award「Oh!　SUSHI!」

防犯･防火･防災訓練（通年）

東京国際フォーラムは、開館以来「安全・安心は最大のサービス」という認識のもとに事業活動を展開しています。日頃から事故・災害等の発生の予防に努めるとともに、危機管理委員会を組織し防犯・防災管理全般を指導・実践。年間を通し従業員対象に各種訓練を実施し、非常事態発生時に的確な対応でお客様の安全を確保するため日々努力を重ねています。

財務諸表

貸借対照表

2015年3月31日現在

科目	金額
（資産の部）	（単位：千円）
流動資産	**4,799,812**
現金及び預金	3,507,285
売掛金	380,060
有価証券	768,879
商品	142
貯蔵品	25,163
前渡金	2,245
前払費用	94,436
繰延税金資産	11,997
未収入金	9,826
その他	268
貸倒引当金	△ 494
固定資産	**2,534,988**
有形固定資産	**784,983**
建物	635,950
構築物	26,278
車両運搬具	222
器具及び備品	114,295
リース資産	8,235
無形固定資産	**43,492**
ソフトウェア	41,587
電話加入権	1,905
投資その他の資産	**1,706,512**
投資有価証券	1,023,875
長期預金	600,000
繰延税金資産	82,566
その他	70
資産合計	**7,334,801**

科目	金額
（負債の部）	（単位：千円）
流動負債	**2,528,518**
買掛金	1,200,010
リース債務	11,388
未払金	280,547
未払費用	5,443
未払法人税等	79,602
未払事業所税	56,526
未払消費税等	43,265
前受金	804,899
預り金	8,317
賞与引当金	38,516
固定負債	**760,717**
リース債務	750
退職給付引当金	236,865
長期預り保証金	523,102
負債合計	**3,289,236**
（純資産の部）	
株主資本	**4,045,565**
資本金	**490,000**
利益剰余金	**3,555,565**
利益準備金	19,110
その他利益剰余金	3,536,455
繰越利益剰余金	3,536,455
純資産合計	**4,045,565**
負債及び純資産合計	**7,334,801**

（注）記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

損益計算書

2014年4月1日から2015年3月31日まで

科目	金額	金額
		（単位：千円）
売上高		**7,732,816**
売上原価		**6,037,935**
売上総利益		**1,694,880**
販売費及び一般管理費		**1,383,189**
営業利益		**311,690**
営業外収益		
受取利息	6,256	
貸倒引当金戻入益	9,816	
雑収入	23,519	39,592
営業外費用		
支払利息	220	
雑損失	172	392
経常利益		**350,890**
特別損失		
固定資産除却損		1,618
税引前当期純利益		**349,271**
法人税、住民税及び事業税	128,095	
法人税等調整額	19,222	147,318
当期純利益		**201,953**

（注）記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

東京国際フォーラムの沿革

基本構想から開館まで

1980(昭和55)年	12月 3日	「マイタウン構想懇談会コミュニティ部会」でシティ・ホールの建設を提言
1985(昭和60)年	8月22日	「東京都シティ・ホール建設計画基本構想」を発表(新都庁舎を新宿地区に、東京国際フォーラムを丸の内に)
1986(昭和61)年	1月24日	「東京都東京国際フォーラム建設等審議会発足」(1987年12月24日最終答申)
1989(平成 元)年	11月 2日	国際公開設計競技の審査の結果、ラファエル・ヴィニオリ氏(米)が最優秀賞
1992(平成 4)年	10月 9日	建築工事着工
1994(平成 6)年	9月 1日	財団法人東京国際交流財団 設立
	12月 1日	東京国際フォーラム施設利用申込の受付開始
1995(平成 7)年	4月 1日	(財)東京国際交流財団は、(財)東京都文化振興会より国際交流事業の事務移管を受ける。
1996(平成 8)年	5月31日	東京国際フォーラム建物竣工
	7月 1日	(財)東京国際交流財団、東京都から東京国際フォーラムの貸付を受ける。
1997(平成 9)年	1月10日	東京国際フォーラム開館

財団法人東京国際交流財団から株式会社東京国際フォーラムへ

1997(平成 9)年	1月10日～3月29日	東京国際フォーラム開館記念"東京ときめきフェスタ"の実施
	3月 1日	ホール・会議室等一般利用開始
2000(平成12)年	12月24日～1月 1日	フォーラム・ミレナリオクラブ実施(以降2005年末まで毎年実施)
2001(平成13)年	12月21日	東京国際フォーラム 株式会社化の発表
2002(平成14)年	8月	東京国際フォーラム開館5周年記念事業の実施("トーキョーアートジャングル"他)
2003(平成15)年	4月 4日	株式会社東京国際フォーラムの設立(代表取締役三宅広人)
	5月22日	代表取締役社長に鳥海 巖が就任
	7月 1日	財団法人東京国際交流財団から株式会社東京国際フォーラムへの事業譲渡

株式会社東京国際フォーラム

2003(平成15)年	7月 1日	株式会社東京国際フォーラム本格稼動、館内サインの一新・ホール等の施設名称の一部変更
		開館時間の延長(7:00～23:30)、新施設利用料金体系の導入
	7月	地上広場に「ネオ屋台村」登場(以降平日の毎日)
	10月	地上広場に「大江戸骨董市」登場(～05年9月:毎月1回、05年10月～:毎月2回)
	11月 1日	「相田みつを美術館」オープン
2004(平成16)年	6月	地上広場に照明灯(ライティング・ポール/光柱)設置
	7月	ネオ屋台村スーパーナイト第1回開催(以降継続開催)
2005(平成17)年	3月	総合案内所リニューアル、ロビーギャラリー照明灯(ライティング・ポール/光柱)設置、Aブロック地下1階女子トイレ増設
	4月24日～5月 1日	第1回ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン「熱狂の日」音楽祭の実施(以降毎年ゴールデンウィークに実施)
2006(平成18)年	4月	ホールA女子トイレの増設、展示ホール用エレベーター設置、東京駅連絡口エスカレーター設置、地上広場完全禁煙化
	12月 8日～1月15日	年末イベント「HARMONIA 」の実施(2007・2008年末にも実施)
2007(平成19)年	通年	開館10周年記念事業の実施(8月「丸の内KIDSフェスタ」等) ※丸の内KIDSフェスタは以降毎年8月中旬に実施
	6月 1日	会議室G701(4月末竣工)の一般貸出開始
2008(平成20)年	3月	展示ホールロビー内喫煙ブース設置
	8月	東京国際フォーラム環境方針の決定
2009(平成21)年	4月～	中期修繕10カ年計画に基づく大規模改修工事の初年度
	12月	年末イベント「ストラスブールのマルシェ・ド・ノエル」の実施(2010年にも実施)
	12月	ガラス棟7階屋上および同テラスの緑化実施
2010(平成22)年	4月～	中期修繕計画10カ年計画に基づく大規模改修工事第2期 (ホールA部分リニューアル、ホールD1リニューアル、ガラス棟会議室空調更新、電気室系統空調更新 等)
2011(平成23)年	3月11日	東日本大震災発生 東京国際フォーラムは帰宅困難者の受入を実施
	3月31日	ホールD1リニューアルオープン(固定座席のシアター形式から平土間形式に改修)
	4月～	中期修繕計画10カ年計画に基づく大規模改修工事第3期 (地上広場植栽植替え、展示ホール・ホールD7・D5部分リニューアル、外壁部分リフレッシュ、 木リブ壁・ブリッジリフレッシュ、喫煙ブース(ホールA・C)新設、利用受付・打合せコーナーのリニューアル等)
2012(平成24)年	通年	開館15周年記念事業の実施(5月"マイケル・サンデル特別講義"、8月"丸の内キッズジャンボリー"等)
	4月～	中期修繕計画10カ年計画に基づく大規模改修工事第4期(ホールC・B7・B5部分リニューアル、地上広場石床補修 等)
	5月	授乳室の開設
2013(平成25)年	4月～	中期修繕計画10カ年計画に基づく大規模改修工事第5期 (中央厨房全面改修、ホールA部分リニューアル、地上広場植栽植替え、外壁部分リフレッシュ 等)
2014(平成26)年	4月～	中期修繕計画10カ年計画に基づく大規模改修工事第6期 (京葉線側階段改修、ガラス棟屋根鉄骨改修準備、ガラス棟喫煙所設置 等)
	12月	年末イベント「TOKYO stylish NIGHT "REFLECTION 2014/2015"」の実施

施設概要

(2015年7月1日現在)

名称	東京国際フォーラム (英文名称:Tokyo International Forum)	
所在地	東京都千代田区丸の内三丁目5番1号	
敷地面積	約27,000㎡	
延床面積	約145,000㎡	
開館年月日	1997年1月10日	
所有者	東京都	
運営管理団体	株式会社東京国際フォーラム	
設計者	ラファエル・ヴィニオリ (Rafael Viñoly) ≪国際設計競技当選者・米国≫	
ホール等	ホールA	劇場形式／座席数:5,012席 (二層式:1階席3,025、2階席1,987)
	ホールB7	平土間形式／床面積:1,400㎡ (二分割可:670㎡／670㎡)
	ホールB5	平土間形式／床面積:600㎡ (二分割可:280㎡／300㎡)
	ホールC	劇場形式／座席数:1,502席 (三層式:1階席739、2階席363、3階席400)
	ホールD7	平土間形式／床面積:340㎡ (引き出し式収納席100席／180席)
	ホールD5	平土間形式／床面積:285㎡
	ホールD1	平土間形式／床面積:137㎡
	展示ホール	床面積:5,000㎡ (二分割可:3,000㎡／2,000㎡)
	会議室	Dブロック会議室(4･5階):3室、ガラス棟会議室(4～7階):31室(4～6階各階10室、7階1室)
	その他	ロビーギャラリー:560㎡ ラウンジ:224㎡
ガラス棟	規模	面積:約4,000㎡ (長さ:約207m 最大幅:約32m 高さ:約60m)
	ガラス枚数	約3,600枚 (西側:約1,800枚 屋根:約1,000枚 東側:約800枚)
	ガラス大きさ	壁面:2.6m×2.5m 屋根:1.7m×1.9m
地上広場	規模	面積:約9,700㎡
	植栽等	植栽:欅42本、桂15本 ベンチ:2名掛48箇所
	その他	貸出スペース:A／約880㎡ B／約670㎡ C／約380㎡ D／約160㎡
駐車場	利用時間等	地下3階／7:00～23:30 (年中無休)
	収容台数	420台 (うち身障者専用7台)
	利用料金	30分200円
店舗等	カフェ・レストラン	12店舗 (地下1階:6店舗 1階:4店舗 2階:1店舗 7階:1店舗)
	ショップ	2店舗 (アートショップ、コンビニエンスストア)
	サービス等	3店舗 (旅行代理店、チケットセンター、リラクゼーション) 、ウエディング「ミラキュルーズ」
	美術館	「相田みつを美術館」／地下1階
アートワーク	「赤と黒」(エルズワース・ケリー) など134点 (作者50名)	

ホールA

ホールB7

ホールC

展示ホール